

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

# 《週報》

第 11 卷第 44 号

第 44 週(10月31日～11月 6日)

発行年月日：平成23年(2011年) 11月10日

発 行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548



- ◆ 水痘が増加傾向！
- ◆ インフルエンザ入院サーベイランスの状況

#### ★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第44週)

- ・一類感染症---報告はありません
  - ・二類感染症---**結核 4名**
  - ・三類感染症---報告はありません
  - ・四類感染症---報告はありません
  - ・五類感染症---**クロイツフェルト・ヤコブ病 1名**

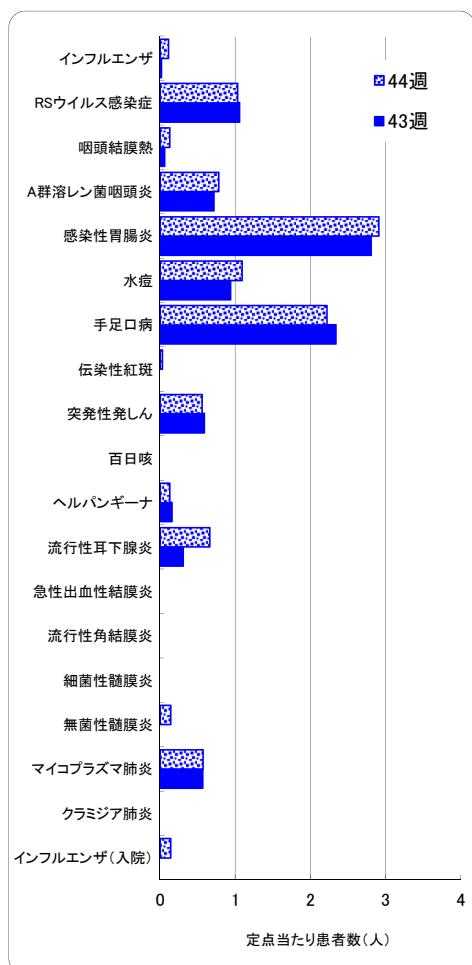
## ★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(293名)より増加し、今週は317名となっています。今週は大部分の疾患で増加し、減少した疾患はRSウイルス感染症、手足口病、突発性発しんおよびヘルパンギーナのみです(週別発生状況については、疾病別定點当たり患者数のグラフ参照)。

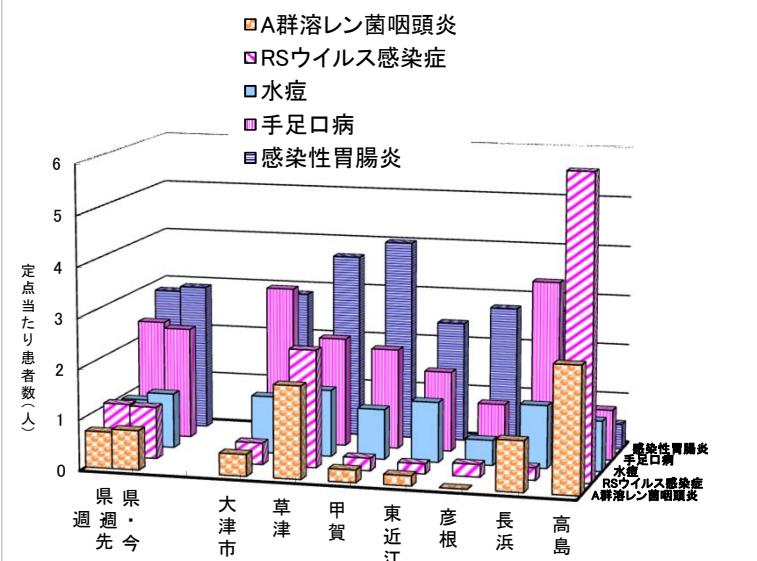
インフルエンザ入院サービスバランスにおいて、インフルエンザの入院患者1名の届出がありました(全国の届出数等については、(3)今週の発生状況参照)。

「感染症発生動向調査」に基づく流行の警報・注意報システム】によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警報----手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00) 甲賀および長浜保健所管内



#### 上位疾患の保健所管内別発生状況(第44週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③水痘、④RSウイルス感染症、⑤A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

**感染性胃腸炎**——草津で先週より急増し、約4倍増となっています。  
**手足口病**——県全体では先週より微減となっていますが、大津市および草津で急増しています。東近江および長浜では、先週より大幅に減少しています。また、甲賀および長浜では、引き続き警報基準基

准値を超えています。  
現金では、第41週以降、増加傾向となっています。

**水痘**——県全体では、第41週以降、増加傾向  
**RSウイルス感染症**——葛津で先週より急増しています。

**RS・ソイル入感染症**——草津で元々より急増しています。  
**A群溶レン菌咽頭炎**——草津および高島で多くなっています。

## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 <sup>(*)1)</sup>		平成21年 累積報告数 <sup>(*)2)</sup>	
		滋賀 (44週) (44週)	全国 (43週注) (43週)	滋賀	全国 (*)3) (43週)	滋賀	全国 (*)3) (43週)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	270	25,206	251	26,704	256	26,996
三類感染症	コレラ	0	10	0	10	1	16
	細菌性赤痢	3	259	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	68	3,489	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	21	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	49	0	66	1	56
	A型肝炎	0	162	3	346	0	115
	オウム病	0	13	1	11	0	21
	つつが虫病	0	186	2	406	0	465
	デング熱	1	90	2	245	0	93
	マラリア	0	70	0	76	0	56
	レジオネラ症	10	658	10	751	8	717
五類感染症	アーベ赤痢	2	674	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	203	3	222	3	223
	急性脳炎	1	215	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	112	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	168	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	4	1,194	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	52	1	80	0	70
	梅毒	6	651	9	621	3	691
	破傷風	1	97	0	106	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	53	2	121	0	116
	風しん	2	333	5	89	2	147
	麻しん	1	418	1	455	7	732
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)4)</sup>	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	25	0	59	0	34

注：44週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

\* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

\* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。

また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものであります。

(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第39週～44週、9/26～11/6)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(↑前週より増加　→前週と同じ　↓前週より減少)										
			39週		40週		41週		42週		43週		
			9/26～	10/3～	10/10～	10/17～	10/24～	10/31～	40	41	42	43	44
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.02	0	0.02	0	0.02	0.11	↓	↑	↓	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	1.19	1.38	1.19	0.97	1.06	1.03	↑	↓	↓	↑	↓
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.03	0.03	0.03	0	0.06	0.13	→	→	↓	↑	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.72	0.53	1.16	0.72	0.78	↓	↓	↑	↓	↑
		感染性胃腸炎	2.34	2.50	2.53	2.72	2.81	2.91	↑	↑	↑	↑	↑
		水痘	0.44	0.31	0.47	0.72	0.94	1.09	↓	↑	↑	↑	↑
		手足口病	2.81	2.56	2.63	2.47	2.34	2.22	↓	↑	↓	↓	↓
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.34	0.06	0.06	0	0.03	↑	↓	→	↓	↑
		突発性発しん	0.50	0.63	0.38	0.91	0.59	0.56	↑	↓	↑	↓	↓
		百日咳	0.09	0.03	0.03	0	0	0	↓	→	↓	→	→
		ヘルパンギーナ	0.41	0.56	0.25	0.13	0.16	0.13	↑	↓	↓	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.72	0.38	0.50	0.25	0.31	0.66	↓	↑	↓	↑	↑
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0.13	0.25	0.50	0.50	0	0	↑	↑	→	↓	→
		細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0	↑	↓	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0	0	0.14	→	→	↓	→	↑
		マイコプラズマ肺炎	0.43	0.29	0	1.00	0.57	0.57	↓	↓	↑	↓	→
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0	0	0.14	→	→	→	→	↑

\* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

-:未集計

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第44週、10/31～11/6)

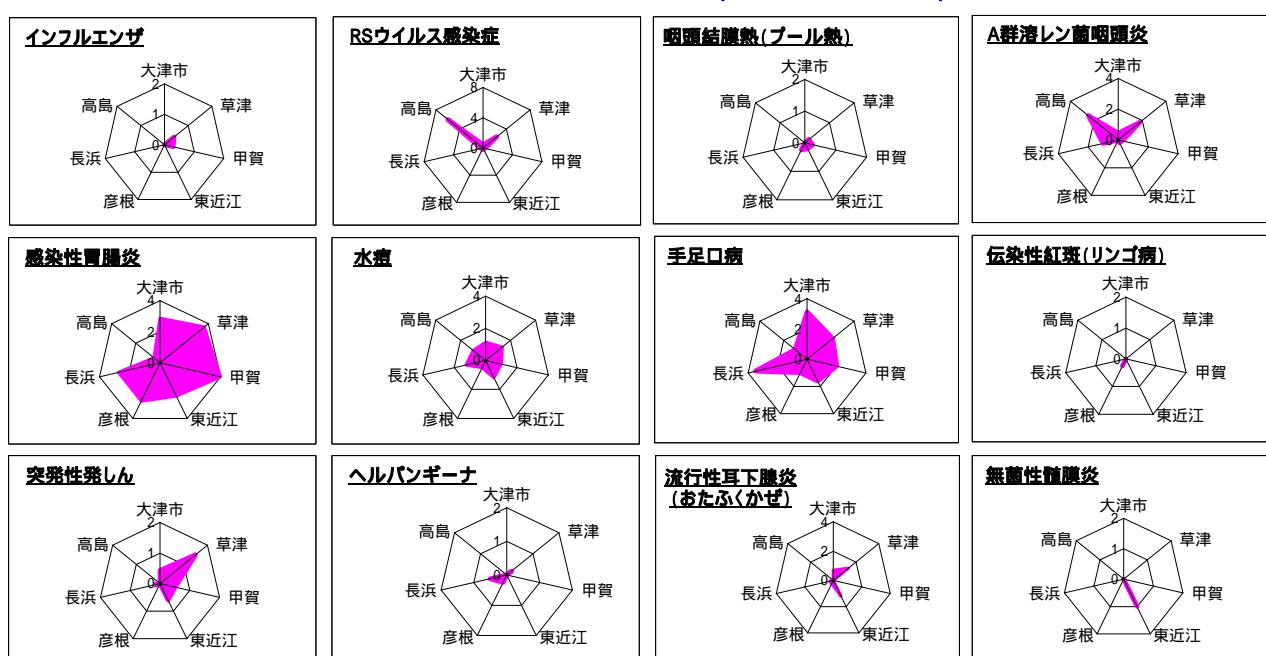
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.11	0	0.40	0.29	0	0	0	0	■
RSウイルス感染症	1.03	0.43	2.33	0.25	0.20	0.25	0.25	6.00	■■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.13	0	0.17	0.25	0.20	0.25	0	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	0.43	1.83	0.25	0.20	0	1.00	2.50	■
感染性胃腸炎	2.91	2.86	3.67	4.00	2.40	2.75	2.75	0.50	■■■
水痘	1.09	1.14	1.33	1.00	1.20	0.50	1.25	1.00	■■
手足口病	2.22	3.14	2.17	2.00	1.60	1.00	3.50	1.00	■■■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	■
突発性発しん	0.56	0.43	1.50	0.50	0.60	0	0.25	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0.13	0	0.17	0	0	0.25	0.50	0	■
流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.66	0.71	1.33	0	1.20	0.25	0.25	0	■■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
細菌性髓膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性髓膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	0	4.00	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■
インフルエンザ(入院)	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	■

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

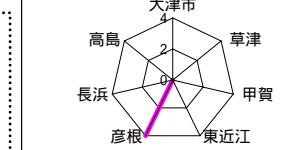


(3) 今週の発生状況

トップページに戻る

<インフルエンザ>  
先週よりやや報告数が増加し、今週は、草津および甲賀保健所管内から報告されています。  
<マイコプラズマ肺炎>  
彦根保健所管内からの報告が多くなっています。

マイコプラズマ肺炎



インフルエンザ(入院)



インフルエンザ入院サーベイランスにおける、入院患者の届出数

感染症法の一部改正により、インフルエンザ入院サーベイランスが平成23年第36週(9/5～9/11)から始まっています。

インフルエンザの患者が基幹定点病院(指定医療機関)に入院した場合、報告されることになっています。

第36～44週における、インフルエンザの入院患者の届出数は、表に示すとあります。

入院サーベイランスの詳細については、厚生労働省のホームページ参照。

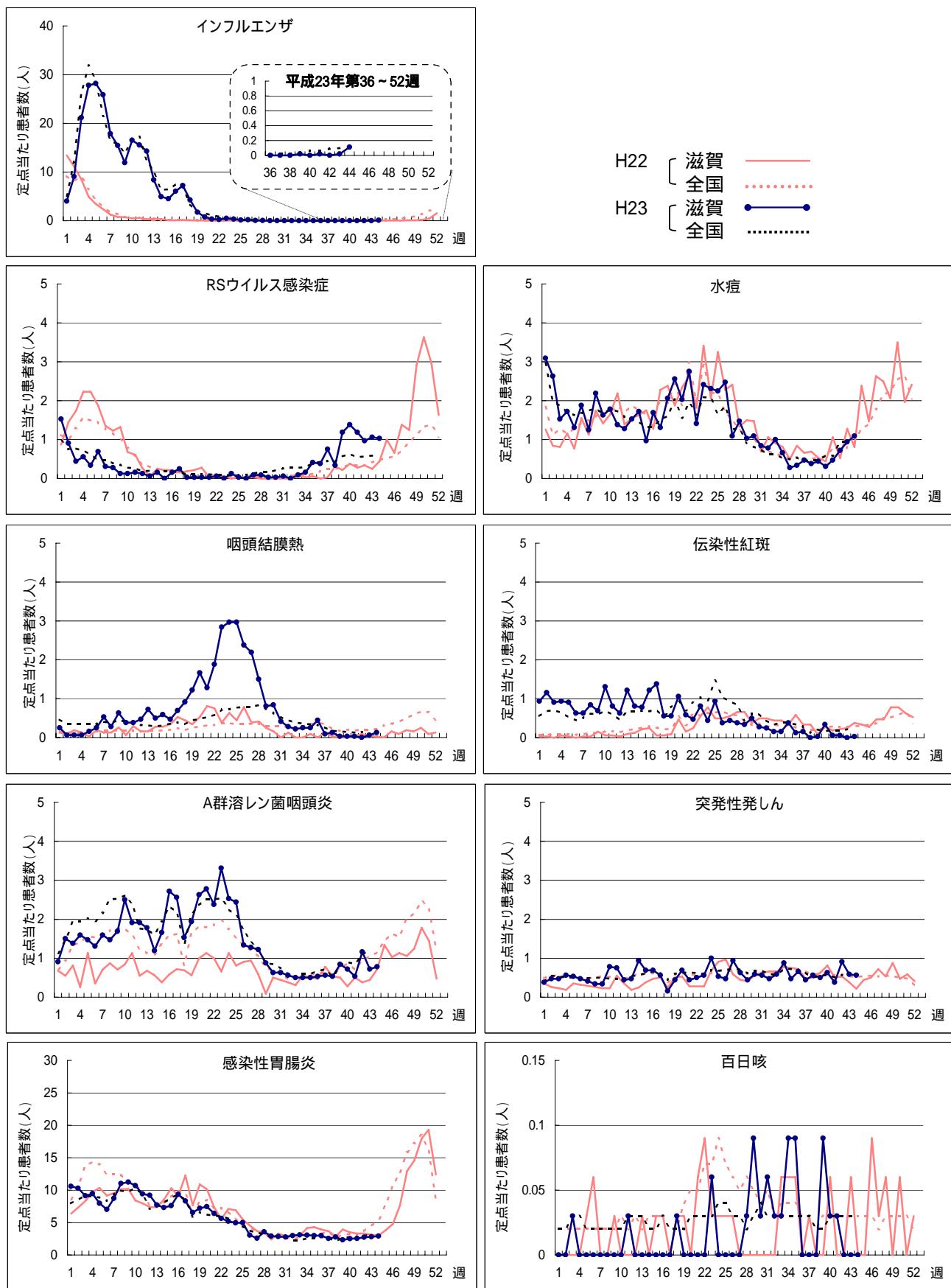
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/houdou.html>

期間	9月 第36～39週 (9/5～10/2)		10月 第40～43週 (10/3～10/30)		11月 第44週現在 (10/31～11/6)		計 <sup>*1</sup>		
	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国 <sup>*2</sup>	滋賀県	
入院患者数 <sup>*1</sup>	13	0	27	0			1	40	1
年齢別内訳	1歳未満	1	0	1	0		0	2	0
	1～4歳	0	0	8	0		1	8	1
	5～9歳	3	0	9	0		0	12	0
	10～14歳	1	0	1	0		0	2	0
	15～19歳	2	0	0	0		0	2	0
	20～29歳	0	0	0	0		0	0	0
	30～39歳	2	0	1	0		0	3	0
	40～49歳	0	0	2	0		0	2	0
	50～59歳	0	0	0	0		0	0	0
	60～69歳	0	0	0	0		0	0	0
	70～79歳	2	0	5	0		0	7	0
	80歳以上	2	0	0	0		0	2	0
	集計中								

\*1: 基幹定点医療機関からのインフルエンザによる入院患者の届出数

\*2: 第36～43週の累積届出数 (人)

## 疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～44週、H23.1.3～H23.11.6)



[トップページに戻る](#)

**疾病別定点当たり患者数**  
(平成23年第1~44週、H23.1.3~H23.11.6)

H22 滋賀  
全国  
H23 滋賀  
全国

